

記念日は愛の日

ご存知のように今日、10月31日はハロウィンです。

近年、日本のあちこちでカボチャやモウモウ、魔がなどの飾り付けが見られるようになりました。

ハロウィンは、古代ケルトの大晦日に由来すると言われています。

古代ケルトの暦では、11月1日が新年で、大晦日の10月31日には人々が仮面を被り、魔除きの火を焚いて食物を捧げて悪霊を追い払ったそうです。

この習慣が時代の流れとともに子どもたちだけに定まり、若者も「サヤカ」に扮しむお祭りのハロウィンに変化して来ました。

ハロウィンの当日、子どもたちはお化けや魔かに仮装して「お菓子をくれなきゃいたづらするぞ」と叫びながら、家々を訪ねて歩きます。

お菓子をねだりするのは、中世時代の農民が祭り用の食料を

らって歩いたことの名残だと言われています。

10月31日、ふれあい広場のハロウィンパーティーには、自宅から仮装のままで参加して下さった親子も居られ、正に「親子で楽しむ保育園」!! 笑顔あふれるお祭りでした。

どうぞこれからも楽しい企画をいしどしお寄せ下さいますようお願いいたします。

11月15日、七五三の翌日、16日は「家族の日」です。

平成19年、国は「家族地域の料を再成する国民運動」の一環として11月の第三日曜日を「家族の日」と定めました。

今年も11月16日が「家族の日」その前後各一週間が「家族の週間」に当たります。

子育ての大切さが受け継がれ、多くの人々が子どもを育む家族の素晴らしさを支え、ともに子育てを育むことを喜びあえるように願う「家族の日」は、近年ますますの社会的な

意義を増してきた記念日だと思えます。

一年必日がいろいろな記念日になぞいますが、中でも子どもの日、母の日、父の日、敬老の日、孫の日と同じように「家族の日」も愛の日、ととて殊更に大切にしていきたい記念日です。

松の英保育園の記念日と言えれば、11月8日「創立記念日」その日になるでしょう。今年も初回目の創立記念日を迎えます。お支えいただいた多くの方々と、卒園して行った子どもたち「家族への感謝を忘れず、この日も「家族の皆様のお誕生日と同じように、愛の日として位置づけていただけるように、松の英の保育の心、あいうえお」で、子どもや大親と寄り続けたいと、誓い新たに11月を迎えます。

子どもの笑顔は

地球の力です

園長 福田孝子

428.11月